

和久里とその周辺の歴史

小浜市教委 下仲 隆浩

● 区名出現前の地域の歴史

地域の遺跡（木崎遺跡、府中遺跡、木崎山城）

墨書土器の出土 「若栗」「乃井村」「乃間田」（野駅の可能性??）

● 今富名の中の和久里

鎌倉期からみえる地名。府中、和久里は室町期まで中心地。

今富（今積）と書く場合あり。今富名として税所などの役所が存在。

小国より大庄を！（若狭一国より今富名を）

● 和久里村の文献初現と南北朝争乱

建武3年（1336）「和久利」（「若狭国守護職次第」）

尊氏方の若狭守護斯波時家が若狭入部時に焼き払った村として出る。

木崎山城は当時と関連するか？

宝篋印塔造塔の原因。

● 地名の由来

建久7年（1196）国衙在庁官人「和久里四郎兵衛尉時継」の本貫地

● 和久里と市の塔

県指定文化財・・・若狭地方最大の宝篋印塔

南北朝争乱の戦没者供養〈南朝方代官・長井雅楽介（朝阿弥）〉

延文3年（1358）の銘文

西方寺→ 小浜広市場（今宮）→ 小浜永三小路（住吉）→ 西方寺

● 家数の推移

文化4年（1804） 家数94・人数456

慶応2年（1866） 家数80

明治24年（1891） 戸数79・人口430

大正9年（1920） 戸数72・人口361

昭和10年（1935） 戸数71・人口325

昭和30年（1955） 戸数80・人口362

昭和63年（1988） 戸数172・人口620